

南海トラフ想定域周辺で 多発 スロー地震

この5月末から南海トラフ地震が発生する可能性が高まった際に一部の住民に事前避難を求める国の新たな防災制度がスタート。地震発生の可能性を判断する基準の一つとして揺れをほとんど感じない「スロー地震」が巨大地震の発生に影響を及ぼすとして近年注目されているのです。

スロー地震とは、海側のプレートが常に沈み込み陸側のプレートが引きずり込まれ地下でゆっくりとずれが生じ、ゆっくりと跳ね上がるので揺れや津波は生じない、というメカニズム。2000年頃に想定震源域周辺で発見され、以来観測が開始16年間に4回見つかり、現在も観測事例が増えているというのです。地道な観測と研究をお願いしたいです。

認知症は予防できるのか 認知症大綱原案できる

「発症先送り」に可能性を期待するのは若年期の基礎的な教育の欠如(8%)、中年期の肥満(1%)、高血圧(2%)、難聴(9%)、高齢期の糖尿病(1%)、社会的孤立(2%)、運動不足(3%)、うつ(4%)、喫煙(5%)以上のすべてのリスクを除くと35%抑制できるという指標があげられたようです。

ドラゴンへの階段 第2回

《エッセイ版》 佐藤 洋祐

皆さん、こんにちは！梅雨の時期ですね。高い湿度はジャズ演奏に使われる楽器の鳴り方を鈍らせるという方もいますが、発祥の地であるアメリカ南部、ニューオーリンズの湿度も相当なもの、大丈夫、問題なしです！それに、適度な湿度は歌い手の喉にも優しいものですね、雨にまつわる名曲も多く、しっとり潤った瑞々しい時期です。日本の音楽活動を始めて早3年半。日本でジャズの素晴らしさを少しでも多くの皆様にお届けするところこそ最もやりがいある仕事と考えました。それでどんなことをやるかということなのですが、そこでドラゴンさんの登場なのですが、中国の古い書物、「易経」の中に、人生を龍の一生になぞらえた考え方が記されています。龍は水の底で力をたくわえ（潜龍の段階）、社会を見聞し方針を固めて（見龍）、いつかタイミングを見計らって空へ飛び上がり（躍龍）、うまくいけば自分の志をはたして大空を駆けまわり（飛龍）、やがては次の世代に己の意志を託し水に降りる（亢龍）という一生をおくりまします。私もこの考え方にちなんで、今の自分を潜龍あるいは見龍の時期とし、志を果たすべく飛び上がる時期を見計らっている人生の段階なのだ、と考えています。今飛び上がってもうまく大空へ駆け上がれないことは明白、でもタイミングを逃したらチャンスのお力を拝借、私も「ドラゴンへの階段」を一つひとつ登って「ジャズをより多くの皆様に」という人生の志を果たしたいと思っています。



挿絵 TAKAKO



自分の47歳という年齢も考え、きりのよい50歳の時までに何か皆様にわかりやすい形で目標をかなえよう、それまで全力で走ってみようと考えました。私の場合は、「この約3年、2022年までに、日本レコード大賞受賞」をひとつの指標に掲げて活動していくことに決めました。さて、こんな変わり者の私の決めたことですので、皆様は「ふん」と軽く流してくだされば笑。さあ、楽しくやってまいりますよ！「ジャズという音楽をより多くの皆様に」ということでは、例えば1960〜70年代のテレビ番組、「シャボン玉ホリデー」のように、ジャズがテレビでお茶の間の皆さんに愛されるようなイメージが理想です。今の時代なら、テレビというよりはインターネットのストリーミングで多くの方々がジャズを楽しんだり、ということになるのかな。

子供たちが選ぶ人気の職業にジャズミュージシャンが真っ先に挙がったり、お仕事帰りの皆さんがアフターアワーズの楽しみに生演奏を求めて真っ先にライブハウスに向かったり、ジャズを演奏するアイドルグループが活躍したり・・・。そんな景色を夢に描いています。

佐藤 洋祐（サトウ ヨウスケ）
ジャズミュージシャン。サクソフォーン奏者としてグラミー賞を2度受賞、ノミネートは4度。海外での活躍で世界的に高い評価を得た。その後2015年末千葉県に住まいを移し現在に至る。